

芸術ニュースは世界へ発信するワールド・ステージ

週刊

芸術新聞

発行：アグリーシステム 週刊芸術新聞編集部

本社：千葉県茂原市渋谷1016-12

メール：agree@green.ocn.jp

agree-sys@excite.co.jp

HP：http://weeklyart.seesaa.net/auth/article_preview/

おもしろ体験博物館
江戸民具街道

神奈川県足柄上郡中井町久所418

開館時間：9：00～17：00

休館日：月曜日

問い合わせ：0465-81-5339

HP：http://edomingu.com/

佐野美術館創立50周年・三島市制75周年記念

横山大観 大気を描く

佐野美術館では、美術館創立50周年記念、三島市市制75周年記念として、「横山大観 大気を描く」展が開催されることになり、注目を注がれている。

70年の画業をたどる回顧展

近代日本画の巨匠・横山大観（よこやま たいかん）（1868～1958）の展覧会が静岡県三島市の佐野美術館で開催される。美術愛好家の読者の皆さんはご存知だろうかと思われる。大観は明治元年、茨城県に水戸藩士の子として生まれる。22年に東京美術学校（現東京藝術大学）に入学、校長岡倉天心（おかくら てんしん）や狩野派の画家・橋本雅邦（はしもと）と

近代日本画の巨匠・横山大観（よこやま たいかん）（1868～1958）の展覧会が静岡県三島市の佐野美術館で開催される。

とがほう）らの教えを受けてきた。のちに日本美術院の創設に参加、新しい日本画の創造に取り組んだ。線を使わず絵具の濃淡で空気や光の表現を試み「朦朧体（もうろうたい）」と批判されたが、やがて日本の湿潤な大気や四季のうつろいを表すのに最もふさわしい画法へ深めていった。そして大正3年（1914）に再興された日本美術院で独創性豊かな作品を次々と

発表。昭和12年（1937）文化勲章を受章した。大観が最も多く題材としたのは霊峰・富士山。千変万化しながら永遠の美しさを魅せる富士の姿を日本人の魂の象徴として、そこに自身が理想とする芸術の極みを重ね、昭和33年に89歳で生涯を閉じるまで、2000点におよぶ富士を描き続けた。

熱海湾を一望でき、眺望ナンバーワンの美術館
■MOA美術館（静岡県熱海市桃山町26）
電話0557-（84）2511
一般1600円、高校生800円、中学生以下無料、65歳以上1200円
木曜日休（祝日は開館）
JR熱海駅下車／バス4番のりばMOA美術館行8分

版画でみる20世紀展 ピカソからウォーホルまで 開催中！

■諸橋近代美術館（福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093番23）
一般・大学生950円、高校生500円、小・中学生200円
生*毎週土曜日、小・中学生は無料
電話0241（37）1088



次号は
10月13日発行

◆10月1日（土）
～平成28年11月6日（日）
佐野美術館（静岡県三島市中田町1-43）TEL 055197517278
一般・大学生1000円
小・中・高校生500円
木曜日休館（11月3日は開館）
※本展チケット（有料）半券のご提示で、会期中2回目以降の入館料2割引

報道関係資料 2016年9月

Since 1967

日本画 洋画 彫刻 工芸美術 書

約3,000点の新作・入選者が全国から集まり、一堂に会します。
熱烈あふれる会場で今年の日本の美をみつてください。

日展

改組 新 第3回 日本美術展覧会

平成 28年 10月25日(金) - 12月4日(日)

国立新美術館

式典時間 本11月22日(土)は「日展の日」として、入場無料となります。
午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)
会期中は商業利用が厳禁、講演会なども多数開催されます。

日展主催事務局 東京都港区赤坂2-1-1 赤坂サカズビル5F
TEL 03-3587-4000 FAX 03-3587-4001 E-MAIL info@nihon-exhibition.jp
〒107-8502 東京都港区赤坂2-1-1 赤坂サカズビル5F

改組 新 第3回(平成28年度) 日本美術展覧会

日展

全国4カ所 巡回予定

「改組 新第3回日本美術展覧会」が10月28日(金)～12月4日(日)まで、国立新美術館で開催される。

全国各地から応募された日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5科にわたり、入選者ならびに無鑑査(日展会員、準会員、前年度特選受賞者)の作品、約3000点が、国立新美術館の展示室に一堂に介す。幅広いジャンルの芸術作品、しかも現代の傾向を、覧出来ます。東京展の後、全国4カ所(京都、名古屋、大阪、富山)を巡回する。

・日本でも最も大きな公募展

・日展は五科(日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書)がそろい、世界でも類を見ない総合的な公募展

・日本の芸術家の渾身の最新作が集結

・日展で活躍した芸術家たち

・全国の日展会員がバックアップし、鑑賞を助けるさまざまなイベント(講演会・シンポジウム・映像による作品解説、親子鑑賞教室、展示室での作品解説会)が開催される。

メモ

◆ 10月28日
(金)～12月4日(日)

国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2) 入場料

03	38210
453	(代表)、展覧会関係03 3823 5701
一般	1200円
学生	700円
高・大学生	700円
中学生以下	無料
毎週火曜日休館	*11月12日(土)は「日展の日」として、入場無料となる。

残された絵画、写真を紹介

名古屋城の天守は、十七世紀に江戸城、大坂城天守が焼失した後は三〇〇年近く、日本最大の天守であり続けた。

明治以後も、天守や本丸御殿はほぼ姿を変えずに存続し、昭和五年(1930)には、城郭としては国宝第一号に指定された。昭和二〇年の戦災焼失までに、多くの絵が描かれ、写真が撮影され、図面に記され続けた。

名古屋城は尾張徳川家の居城、陸軍施設、離宮、公園と、時代によりその役割

名古屋城天守閣特別展 描かれた名古屋城 写された名古屋城



を変化させてきた。絵や図面の描かれ方、写真の撮られ方も、その時の情勢を反映している。

本展では、残された絵画、写真を紹介し、名古屋城の歴史を視覚的に振り返っていく。

メモ

◆ 10月18日
(土)～11月23日(水・祝)

名古屋城天守閣2階展示室(愛知県名古屋市中区本丸1-1) 入場料

31	1700円
一般	800円
名古屋市内高齢者	350円
会期中無休	

日本の歴史・文化の流れの中から論点を絞ったテーマを選んでの展示

■ 国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市城内町117) 電話03(5777)8600

ハローダイヤル 一般420円、高校・大学生250円、中学生以下は無料 月曜日休館

着物、帯、のれん、屏風、額絵、絵本等多岐にわたる

■ 静岡市立芹沢銑介美術館(静岡市駿河区登呂5-10の5) 電話054(282)522

一般410円 高大生250円、月曜日休館

庭園ゾーン、書院ゾーン、体験ゾーン、展示ゾーン

■ 北九州市立小倉城庭園(北九州市小倉北区城内1-2) 電話093(582)2747

会期中無休



草間彌生

わが永遠の魂

YAYOI KUSAMA: My Eternal Soul

日本初公開
作品も含まれる

世界を舞台に活躍されている前衛芸術家、草間彌生の展覧会が、来春（2017年2月22日～5月22日まで）国立新美術館で開催されることが決まり、このほど本人も出席して、報道発表会が行われた。

現在も作品を手がけているなか、大勢の報道陣が待ち受ける会場に車いすで登場して、喝采を浴びていた。

1950年代後半に単身ニューヨークに渡って以降、絵画、彫刻、インスタレーション、映像、さらに小説や詩に至るまで広範な活動を展開してきた。世界各地でも大規模な個展に功させ、「日本画生み出した最も傑出したアーティスト」となった。

そんな草間の作品シリーズ「わが永遠の魂」を中心に、約130点が日本初公開となり、ぜひとも展覧しておきたいものです。

メモ

◆2017年
2月22日（水）

5月22日（月）

国立新美術館 企画展示
室1E（東京都港区六本木
7-22-2）TEL 03-57
77-8600（ハローダ
イヤル）一般1600円
大学生1200円 高校
生800円 中学生以下無
料 毎週火曜日休館



日伊国交樹立150周年記念

ティツィアーノと ヴェネツィア派展



「ティツィアーノと
ヴェネツィア派展」
2017.12.1～42日
東京都美術館

『ダナエ』が 日本初公開

水の都ヴェネツィアは、15世紀から16世紀にかけて海洋交易により飛躍的に繁栄し、異文化の交わる国際都市として発展を遂げるなかで、美術の黄金期を迎えた。政庁舎や聖堂、貴族の邸宅のための絵画まで、公私の場のためにさまざまな主題の絵画が制作され、明

効果を特徴とする、ヴェネツィアならではの絵画表現が生み出された。

本展は、ヴェネツィア派の巨匠ティツィアーノを中心に、黄金期を築いた多様な芸術家たちの絵画をとおり、ヴェネツィア・ルネサンス美術の特徴とその魅力を紹介する。

ティツィアーノの傑作『ダナエ』が日本初公開、イタリアの人々に愛されて



きた『フロラ』も来日することになっている。

メモ

◆2017年
1月21日（土）

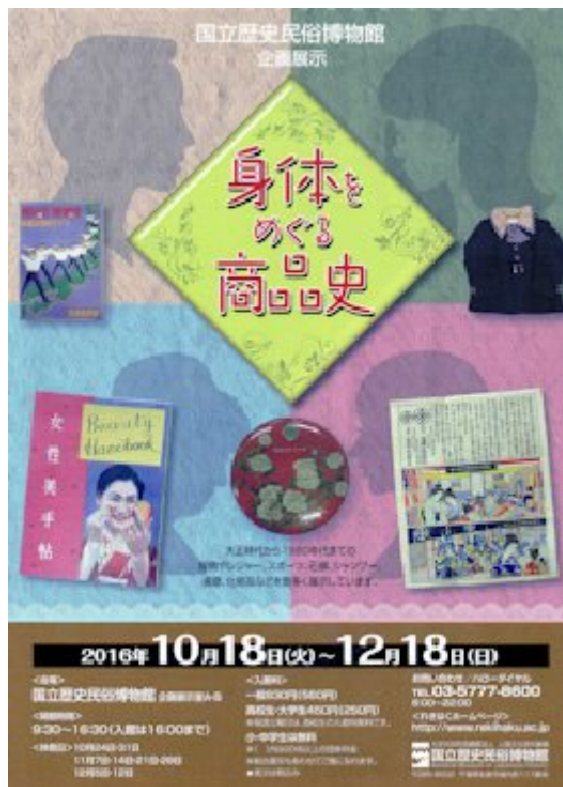
4月2日（日）

東京都美術館企画棟 企画展示室（東京都台東区上野公園8-36）TEL 03-5777-8600（ハローダイヤル）一般1600円 大学生・専門学校生1300円 高校生800円 65歳以上1000円 中学生以下無料 月曜日、3月21日（火）休館（※ただし、3月20日（月）祝、27日（月）は開館）

特集

「身体をめぐる商品史」 & 「百貨店と近世の織物」

同時期に連動した展示会（国立歴史民俗博物館）



身体をめぐる商品史

明治末期から工業化が進み、流通網が発達してから、新商品が開発されるたびに、人々の身体観や商品のデザインは少しずつ変わってきました。その一方

国立歴史民俗博物館では、同時期連動開催として「身体をめぐる商品史」と「百貨店と近世の織物」展が開催される。同じ系統内容で、見ごたえのある企画展となっている。

で、新たな変化に対する抵抗感や過去の見直しがあつて、身体観やデザインは伝統回帰を繰り返してきました。その意味で、身体に関連する商品の開発は、きわめて歴史的、文化的な営みであり、流行の発信源であつたといえるでしょう。そこで、本企画展示では、おもに大正時代から1980年代頃までの身体観やデザインの変化を商品や雑誌、カタログ、広告などで表現していくことで、日本における身体観が変化してきた様子を服飾、レジャー、スポーツ、衛生、美容を中心として描写していくことを目的とします。

I 百貨店の誕生と身体の商品化

- II 流行の創出と「伝統」の発見
- III 健康観の変遷
- IV 衛生観の芽生え
- IV 美容観の変遷

メモ
◆ 10月18日
(火) ~ 12月18日

18日(日)

国立歴史民俗博物館

企画展示室A・B（千葉県佐倉市城内町1-17）

TEL 03-5777-8600

7 8 6 0 0（ハローダイヤル）

一般 830円 高校生・大学生 450円 小・中学生 無料

* 総合展示もあわせて入場できます。毎週月曜日休館日

百貨店と近世の染織

本展では、「慶長風俗展覧会」(銀座・松屋呉服店、大正15年)、「近松時代風俗展覧会」(長堀橋・高島屋呉服店、大正11年)、「友禅遺品展覧会」(高麗橋および日本橋・三越呉服店、大正9年)と「友禅斎謝恩碑落成法要」(大正10年)をとりあげ、そこで実際に陳列された近世の染織品を展示する。

そして、これらの染織品を百貨店がいかに利用したかを見ていくことにより、文化が発見され消費されるさまを示す。

なお、本展は同時期に開催の企画展示「身体をめぐる商品史」の第II章「流行の創出と「伝統」の発見」

見どころ

・近世の染織品とともに、それを参考にして制作された着物の図案を写真パネルで紹介

・日本の代表的な染色技法である友禅染

・展示する近世の染織品のほとんどが、国内はもとより海外でも高い評価を得ている野村正治郎（古美術商、1879〜1943年）のコレクション

メモ
◆ 10月18日
(火) ~ 12月18日

日(日) 第3展示室 TEL

03 5777 8600

(ハローダイヤル) 一般

420円 高校・大学生 2

50円 小・中学生は無料

月曜日休館



2016年10月30日までの主な展覧会情報

美術館・博物館ガイド

東京都内

●国立科学博物館 「海のハンター展 恵み豊かな地球の未来」 10月2日まで
Tel 03 5777 8600（ハローダイヤル）
一般1600円 9/20休館

●東京都美術館 「木々の対話 再生をめぐる5つの風景」 10月2日まで
Tel 03 3823 6921 一般1600円 無休

●国立新美術館 「ヴェネツィア・ルネサンスノ巨匠たち」 10月10日まで
Tel 03 5777 8600（ハローダイヤル）
一般800円 会期中無休

●東京藝術大学美術館 「驚きの明治工藝展」 10月30日まで
Tel 03 5777 8600（ハローダイヤル）
一般1300円 月曜日休館

●東京都写真美術館 「世界報道写真展」 10月

23日まで Tel 03 3280 0099 一般800円 月曜日休館

●東京ステーションギャラリー 「動き出す！絵画ペール北山の夢」 11月6日まで
Tel 03 3212 2486 一般1000円 月曜日休館

●太田記念美術館 「国芳ヒーローズ 水滸伝豪傑勢揃」 10月30日まで
Tel 03 5777 8600（ハローダイヤル）
一般1000円 9/28休館

●Bunkamura ザ・ミュージアム 「ピアトリクス・ポター生誕150周年 ピーターラビット展」 10月11日まで
Tel 03 5777 8600（ハローダイヤル）
一般1400円 無休

●サントリー美術館 「鈴木其一 江戸琳派の旗手」 10月30日まで
Tel 03 5777 8600（ハローダイヤル）
一般1300円 火曜日休

●日本科学未来館 「The NINJA 忍者つてナンジャ」 10月10日まで
Tel 03 3570 9151 一般1600円 火曜日休館

●板橋区立美術館 「サザエさん生誕70年記念 りぬき長谷川町子展」 10月10日まで
Tel 03 3977 1000 一般650円 月曜日休館

●三鷹市美術ギャラリー 「生誕120年記念 小林かいち展」 10月23日まで
Tel 0422 79033 一般600円 月曜日休館

●東京富士美術館 「ブリス&プリンセス 語り継がれる幸せの言葉」 10月2日まで
Tel 0422 914511 一般800円

関東南部

●川崎市岡本太郎美術館 「鉄道美術館」 10月10日まで
Tel 044 9000 9898 一般1000円 月曜日、9/23休館

●神奈川県立金沢文庫 「国宝でよみとく神仏のすがた」 10月2日まで
Tel 0457011906 一般2500円

●神奈川県立近代美術館 葉山 「クエイ兄弟 ファントム・ミュージアム」 10月10日まで
Tel 046 875 2800 一般1300円 月曜日休館

●横須賀美術館 「女性を描く クールベ、ルノワールからマティスまで」 10月23日まで
Tel 046 845 1211 一般1200円 10/3休館

●カサヤの森現代美術館 「山本正道 シモン・パシエカ 寓話との出会い」 10月16日まで
Tel 046 852 3030 一般

関東北部

●国立歴史民俗博物館 「柳田園男と考古学」 10月10日まで
Tel 03 5777 8600（ハローダイヤル）
一般4200円 月曜日休館

●足利市立美術館 「風景のかたち 前田真三と現代日本の風景写真」 10月10日まで
Tel 0284 43131 一般700円 月曜日休館

●山梨県立博物館 「国立美術館巡回展 煌めく名作たち」 10月10日まで
Tel 055 261 2631 一般1000円 月曜日休館

●箱根写真美術館 （神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 432）
電話0460（82）2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

600円 月・火曜日休館

ルネ・ラリックの生涯と出会う

●箱根ラリック美術館 （神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1）
電話0460（84）2255 一般1500円、大学生・高校生・シニア（65歳以上）1300円、中学生・小学生800円 年中無休

からくり人形な関係資料多数展示中

●江戸民具街道（神奈川県足柄上郡中井町久所418）
電話0465（81）5339 月曜日休館

箱根の景観と自慢のスウィーツを楽しむ

●箱根写真美術館 （神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 432）
電話0460（82）2717 火曜日休館 毎週土曜日は夕方5時まで営業

Art Topics

切り絵で描く、絵物語 横森テルオ 個展



横森テルオ個展（切り絵）
2016年10月22日（土）～10月30日（日）

Art Gallery LOS PINOS & Cafe

メモ
（土）10月22日
（日）10月30日
Art Gallery
LOS PINOS
& Cafe（金輪兼
藤沢市南藤沢7-1-1
02）TEL 0466-12
612000 12:00～
18:00 水曜日休廊

昆虫、魚、花、鳥、動物
：特にうさぎ、猫など、身
近な動物が語ります！



メモ
（土）10月1日
（日）10月30日
起雲閣（熱海市昭和町4
2 JR熱海駅出口から
徒歩約19分） 問い合わせ
MOA美術館 一般51
0円 高校生・中学生30
0円

九谷焼の3代徳田八十吉
や、大角幸枝の作品など、
コレクションの中から11名
の人間国宝の作品を展観で
きる。

MOA美術館

あたみ海辺の薪能

熱海の森羅万象に捧ぐ



かがり火の中で
舞う薪能
MOA美術館では、毎年
8月に「薪能」を開催して
いましたが、今年は美術館
のリニューアル工事に伴
い、ムア広場での「薪能」
が開催できないため、熱海
市や熱海市観光協会をはじ
め、関係者各位のお力添え
のもと、「あたみ海辺の薪
能」（仮称）として、熱海の
海岸での開催予定。

で、日本の伝統文化を心ゆ
くまで楽しめる催し。
（10月14日）
・熱海の森羅万象に捧ぐ
能舞「海」（新作初演）
辰巳満次郎
・常磐津
花柳あらた
兵衛ほか
・能「高砂」 宝生流
辰巳満次郎
（10月15日）
・長唄一調一管「月と
海と」（新作初演） 笛 福
原 寛 小鼓 堅田 喜
代
・熱海の森羅万象に捧ぐ
能舞「月」（新作初演）
辰巳満次郎

MOA美術館所蔵 人間国宝展

・素浄瑠璃「乗合船恵方
万歳」より 常磐津文字
兵衛ほか
・能「融」 宝生流
辰巳満次郎

MOA美術館は改装工事
中ですので、熱海市指定有
形文化財「起雲閣」を会場
に、「MOA美術館所蔵
人間国宝展」を開催。
本展は、2017年2月
5日のリニューアルオープ
ンに向かう改修工事の期間
を活用し、熱海市内の秋の
芸術、食、音楽等のイベン
トを繋ぐ「あたみ湯つたり
アート2016」の一環と
して開催。